

ホワイトハウス  
報道官室

即時発表用

2009年12月1日

**ファクトシート：アフガニスタンとパキスタンにおける今後の方策**

**我々の任務** - 大統領の演説は2009年3月の中核目標を再確認しているが、これはすなわち、アルカイダを阻止・解体し、最終的に撃退し、彼らがアフガニスタンやパキスタンに戻るのを阻止することである。このために我々と同盟国は、軍隊を増派し、反政府武装勢力分子を標的として戦い、主要な人口密集地域の安全を確保し、アフガン軍隊を訓練し、責任をアフガンの有能なパートナーに移譲し、同じ脅威に直面しているパキスタンと我々のパートナーシップを拡充する。

この地域は、アルカイダが追求する世界的な暴力過激主義の中心地であり、9月11日テロ事件で米国への攻撃の拠点になった地域である。そこでは今も新しい攻撃が計画中であるが、この事実はアメリカ政府当局により発見・阻止された最近の策謀によって裏付けられている。我々は、国際テロリストが米国や同盟国を攻撃できるような安全な隠れ場にアフガニスタンをタリバンが逆戻りさせることを防止する。これはアメリカ本土に直接の脅威を与えるものであり、我々が容認できない脅威である。アルカイダはパキスタンに留まり、そこで米国に対する攻撃計画を続けており、彼らと過激派同盟者はパキスタン国家に対する脅威となっている。パキスタンにおける我々の目標は、アルカイダの撃退とパキスタンの安定維持を保証することである。

**見直しプロセス**：見直し作業は、目標、目標の達成方法、そして最終的に必要とされる資源との間の整合性を点検するという慎重かつ統制のとれた三段階のプロセスである。過去10週間にわたって、大統領が議長役となり国家安全保障チームとの会合を9回行い、アフガニスタン政府とパキスタン政府を含む主要同盟国およびパートナーと協議した。大統領は米軍兵士の追加派遣に合意する前に、

答えづらい質問を出すことに焦点を当て、全オプションを注意深く考慮するために時間をかけ、閣僚間の様々な競合する見解を統一した。

その見直し作業の結果として、我々は米国の任務に重点をおき、地域アプローチと国際支援の必要性に関する共通の理解を構築した。我々は、その地域における永続的な利益を保護するために、アフガニスタンとパキスタンとのパートナーシップを維持しつつ、2011年夏に戦闘部隊の縮小を開始する条件を創出するために、アフガニスタンに米軍を迅速に送り込み、こうした追加資源を活用する。

会合では、この地域からのアルカイダ脅威の根絶、地域の安定回復を保証する最善の方法に焦点が当てられた。我々は、パキスタンとアフガニスタン両国における米国の努力の整合性および民生・軍事資源のバランス、そして米国と国際社会の努力の整合性を綿密に検討した。

数々の課題について徹底した探査が行われた：国益、中核目的および目標、テロ対策における優先課題、パキスタンにおけるテロ組織の隠れ場所、全世界の米軍部隊の健全性、軍隊展開に伴うリスクとコスト、全世界的な軍隊展開の要件、アフガニスタンおよびパキスタン両国に向けての国際協力とコミットメント、アフガン治安部隊を含むアフガンの全分野における能力、中央政府と地方政府および（麻薬取引を含む）腐敗、開発および経済問題などである。

**3月以降の変化：**大統領が3月に米国の新たなコミットメントを発表して以降、多くの重要な進展があり、米政権はアフガニスタン、パキスタンにおけるアプローチの見直しを行った：アフガニスタンおよびパキスタンに注目が集まり、アフガニスタンで新しい米国の指導部が確立され、パキスタンが過激主義と戦う努力を拡大し、アフガニスタン情勢がさらに深刻になった。

米国は、駐アフガニスタン米国大使としてカール・エイケンベリー大使、アフガニスタンのISAF部隊の新司令官としてスタンレー・マクリスタル大將を任命し、アフガニスタンにおける新しい文民、軍人指導部を配置した。アフガニスタン到着後、エイケンベリー大使とマクリスタル大將はともに、8年間にわたる資源不足の結果として情勢は予想以上に悪化していることを認めた。エイケンベリー大

使とマクリスタル大將は協力して、同国全土にわたる米国の努力を統合するための新しい民生・軍事活動計画を公表した。

アフガニスタンでの困難で長引いた選挙プロセスそして法による統治の不在という明白な兆候により、カブールの中央政府の限界が明瞭になった。

その一方で、パキスタンでは、パキスタン人がイスラマバードから 60 マイルしか離れていないスワト谷でその支配権を奪った過激派を撃退するために、新たな決意を示した。野党指導者を含むパキスタンの政治指導者は、パキスタン軍の活動を支援するために団結した。この秋に、パキスタン人は過激派に対する戦いを、アフガニスタンとの国境沿いの南ワジリスタンのメフスト部族地域へと拡大した。

**今後の方策** - 大統領は、アフガニスタンに 3 万人の米軍部隊を追加派遣することを決定した。この部隊は、現地にすでに配備されている 6 万 8 千人の米軍兵士と 3 万 9 千人の米軍ではない ISAF 部隊とともに、当初計画より迅速に配備され、それによって反政府武装勢力を標的にし、その勢いを削ぎ、人口密集地域の安全をよりよく確保できる。同軍隊は効果的なアフガン治安部隊を訓練し、より多くのアフガン人が戦闘に加わるよう彼らとパートナーを組んでいる我々の能力を増大させる。そしてこのパートナーシップを追求することにより、我々は責任をアフガン人に移譲し、2011 年夏に米戦闘部隊の撤収を開始できる。つまり、こうした資源によって、我々が米国の責任を移譲できるようアフガン人の訓練に必要な最後の一押しを可能にする。

我々は、今後 18 ヶ月間にわたりこの増強された戦力のレベルを維持する。この間、我々は進捗状況を定期的に調べる。2011 年 7 月に、我々はアフガン人に主要な安全保障の責任を委譲し、アフガニスタンからの戦闘部隊の撤収を開始する。アフガン人が自らの安全保障への責任を担うようになる間、我々はアフガニスタンの治安部隊に助言と支援を提供し続け、その安全保障のためのパートナーシップを維持し、彼らがこの努力を持続できるようにする。アフガン人は戦争に疲れており、平和、正義、経済安全保障を求めている。我々の意図は、彼らがこうした目標を達成するのを助け、アルカイダに関係する外国戦闘員による再占領の脅威と戦争の終結を助けることである。

我々はこの努力を単独で行うのではない。我々の戦闘にはアフガン人が参加し続け、マクリスタル大將が構想する積極的な提携努力はより多くのアフガン人を自国の将来のための戦闘に参加させる。NATOからも追加資源が提供される。これらの同盟国はすでに独自に、アフガニスタンに対して重大なコミットメントを実施しており、我々は、今後数日間、数週間うちに、軍隊、訓練教官、資源など同盟国からの追加貢献について話し合う。これは同盟の信頼性が単に試されているということではなく、もっと根本的なことが問題となっているからである。つまりロンドンやマドリードの安全保障、パリやベルリン、プラハ、ニューヨークの安全保障が、我々のさらに広範にわたる集団的安全保障が問題となっているのである。

我々は民生努力を強化するために、米国のパートナーである国連、そしてアフガン国民と協力し、我々がより良い安全保障を確立するに伴ってアフガニスタン政府がそれに参加できるようにする。カルザイ大統領の就任演説は、再統合と和解へのコミットメント、アフガニスタンの地域パートナーとの関係改善、アフガン治安部隊の安全保障責任の着実な増大を含む新しい方向に移行することに関して、正しいメッセージを送った。しかし今は、行動と進展がなければならない。我々は米国の期待を明瞭にし、国民のために奉仕し腐敗と戦うアフガンの省庁、州知事、地方指導者を奨励・補強する。我々は、説明責任を果たさず、アフガン国民と国家のために奉仕しない人々に増強するのではない。そして我々は、米国の援助を、アフガン国民の生活に即時に影響を与えうる農業などの分野に焦点を当てて実施する。

**民生支援：**相当量の民生支援の追加投入に伴い、多数の文民専門家の増員を続ける。彼らは国家および地方政府の機関の能力を強化し、アフガニスタンの重要な経済部門の回復を助けることにより、暴力拡大だけしか約束しない反政府武装勢力をアフガン人自身が撃退できるようにするために、長期的な提携関係をアフガン人との間に結ぶ。

成長というものが、短期的に過激派のアピールを弱め、長期的に持続可能な経済開発を達成するために、非常に重要である。我々の復興における最優先課題は、

かつてのアフガニスタンの活力ある農業部門を回復するための民生・軍事農業再開戦略を実施することである。これが、武装勢力から戦闘員とケシ栽培の収益を奪うのを助ける。

我々の統治に関する努力の重点は、アフガン国民が毎日政府と接触する窓口になっている州、地区、地方レベルで、もっと応答性をもち、可視的で、説明責任をもつ機関を開発することにある。我々はまた、より大きな説明責任に向けた進展のための具体的な措置により、腐敗と戦うアフガン政府の再活性化された計画を奨励し、支援する。

我々の政治戦略の主要な要素は、アルカイダと断交し、武器を放棄して政治プロセスに取り組もうとするタリバンの再統合を図るアフガン人主導の努力を支援することである。

**パキスタンにおける我々のパートナー：パキスタンと我々のパートナーシップ**は、アフガニスタンにおける我々の努力と密接に結びついている。我が国の安全を守るためには、アフガニスタン・パキスタン国境の両側で通用する戦略が必要である。行動しないことの代価は非常に大きい。

米国は、両国により大きな脅威を与えるグループを標的に戦うパキスタンの能力を強化する決意を持っている。我々は、その所在が分っておりその意図が明瞭な幹部テロリストのために安全な隠れ家を提供することを断じて容認しない。パキスタンに対しては、我々は、過激派に対する戦いを持続し、自国内のテロリストの安全な隠れ家を根絶するよう、同国の文民、軍人の指導部を奨励し続ける。

我々は今、パキスタンの民主機関と協力し、両国に共通する利益と懸案について両国政府および国民の間の絆を強化することに焦点を当てている。我々は、パキスタンとの長期にわたる戦略関係に対して決意を持っている。我々は、パキスタンの開発と民主主義を支援するため向こう5年間、毎年15億ドルずつを提供することにより、このパキスタンへのコミットメントを確認し、支援に向けた追加の誓約を結集するための世界的な努力を主導してきている。この相当額の長期的な支援のコミットメントには、以下のような目的に対処する：

- ( 1 ) パキスタンが当面のエネルギー、水の危機や関連した経済危機に対処するのを助けることにより、米国のパキスタン国民とのパートナーシップを深め、過激主義者のアピールを弱める。
- ( 2 ) パキスタンの長期的な安定と進歩に必要な持続可能な雇用創出と経済成長への道にパキスタンが踏み出すために必要とされるより広範な経済改革を支援する。
- ( 3 ) パキスタン、アフガニスタン、広域な地域、さらに世界中の人々を脅かす過激主義者の避難場所を根絶するために、過激主義者に対抗してパキスタンが成功を構築するのを助ける。

米国の追加援助は、パキスタンが長期的な開発のための基盤を構築するのを助け、さらに、米国やパキスタンを脅かす過激主義者を撃退するために両国が協力する中で、パキスタン国民の日常生活に最も影響を及ぼす問題に対処する決意を米国が持っていることを実証することにより、アメリカ国民とパキスタン国民の絆を強化するものでもある。